

1981(昭和56)年に「滋賀県琵琶湖の富栄養化の防止に関する条例」施行1周年を記念して、7月1日を「びわ湖の日」と決定しました。その後、1996(平成8)年7月に施行された滋賀県環境基本条例において、「びわ湖の日」は環境保全への理解と認識を深め、環境保全活動への参加意欲を高める日と定めています。

また、7月1日から8月27日「世界湖沼の日」までの約2か月間を「びわ活」重点期間とし、琵琶湖に関わるさまざまな取組や活動が各地で展開されています。

1. 7月1日「びわ湖の日」

(1)「びわ湖の日」誕生

琵琶湖の環境の保全を図ることを目的に定められた「滋賀県琵琶湖の富栄養化の防止に関する条例」(通称:琵琶湖条例)施行の翌年1981(昭和56)年7月1日に、県と大津市が県民討論会「身近な環境を考えるつどい」を開催しました。その会場からの提案により7月1日を「よみがえれ碧いびわ湖の日(通称:「びわ湖の日」)」とすることに決定しました。



写真4-2-1 県民討論会

また、1996(平成8)年7月に施行された滋賀県環境基本条例では、7月1日を「びわ湖の日」と定めており、県民および事業者の間に広く環境の保全についての理解と認識を深めるとともに、環境の保全に関する活動への参加意欲を高めることとしています。

(2)「びわ湖の日」の活動

1971(昭和46)年に設立された「美しい湖国をつくる会」は、設立当初から琵琶湖の一斉清掃を企画し、数万人の方々が毎年活動をされていました。1981(昭和56)年の「びわ湖の日」決定以降、一斉清掃の活動は広がりを見せ、例年多くの方が参加する「びわ湖の日」を代表する取組になりました。



写真4-2-2 一斉清掃の様子

「びわ湖の日」を定めてから40年以上が経った現在、「琵琶湖をきれいにしよう」、「豊かな琵琶湖を取り戻そう」、「琵琶湖にもっと関わろう」の3つの柱で多様な主体との連携のもと、琵琶湖の恵みをいただくなど、一斉清掃活動に限らず、様々な形で琵琶湖に関わりをもつ取組を進めています。



2. 琵琶湖と関わるさまざまな活動「びわ活」

(1) 遠い存在となった琵琶湖

かつて私たちの生活用水は身近な地域の井戸水や川の水でした。川はつながっている、上流で水を汚すと下流の人が困ります。このような共同の暮らしを支える知恵として、「始末して」、「ていねいに」、「もったいない」と思い、扱う「わきまえ」が、昔はごく当たり前に認識され、実践されていました。また、「水辺あそび」も水とのかかわりの豊かさの象徴です。かつての水辺には大きな魚や多種多様な生き物がいて、その豊かな生態系が「水辺あそび」のおもしろさの原点でした。そしてあそびでつかんだ魚は日々のおかずとなり、水辺とともに生きる実感が暮らしの中にありました。

その後、高度経済成長期を経て生活様式が大きく変わり、また増大する水の需要に応えるとともに地域開発を目的とした琵琶湖総合開発(p226「9-5」参照)などにより、上下水道や河川の整備、湖岸堤の建設がなされ、生活は衛生的で便利なものとなりました。

人々の暮らしが快適で安全となった一方で、かつては生活用水やそれを扱う際の「わきまえ」、「水辺あそび」等により濃密であった水とのかかわりが希薄になり、人々にとって水、水辺、琵琶湖が遠い存在になってしまいました。

(2) 「びわ活」の推進

琵琶湖が遠い存在となる中で、人の暮らしと水とのかかわりを取り戻そうとする取組が度々起こりました。それが石けん運動(p80「4-1」参照)や先述の琵琶湖の一斉清掃などです。これらの取組の原動力は「琵琶湖をなんとかしたい」という一人ひとりの思いであり、琵琶湖を守るためには、人々の琵琶湖への思いや関心が何よりも大切だということがわかります。人々の琵琶湖への思いや関心を呼び起こすためには、現代の暮らしを踏まえながらも、琵琶湖と人々を「近づける」ことが必要です。

そのために県では、琵琶湖と関わるさまざまな活動、「びわ活」を推進しています。より多くの人に「びわ活」を実施してもらおうと、7月1日の「びわ湖の日」から8月27日の「世界湖沼の日」までを「びわ活」重点期間として、琵琶湖に関連する事業を集中的に展開しています。母なる琵琶湖「マザーレイク」に対し、水を育む山は「ファザーフォレスト」と呼んでおり、琵琶湖を守るためには「森-川-里-湖」のつながりを意識して、一人ひとりがそれぞれのライフスタイルに合った方法で琵琶湖と関わるのが大切です。

関わり方には、琵琶湖や水辺で遊ぶことはもちろん、県産木材を使うこと、湖魚などの琵琶湖の恵みをいただくこと、琵琶湖の歴史を学ぶことなど様々な方法があります。どんな方法でも構いません。琵琶湖に関心を持ち、ほんの少しでもいいので、琵琶湖を守る暮らしを実践してもらえたらと思います。



写真4-2-3 琵琶湖の水源・山からの眺望(「びわ活」の一例)

環境政策課